

動物用医薬品

犬猫用回虫駆虫薬

ピペラックスシロップ

ピペラックスシロップは、犬及び猫の回虫(かいちゅう)の駆除に効果があります。
回虫は、虫の卵を口から飲み込んだり、母犬の胎盤や母乳、母猫の母乳から感染します。

【成分及び分量】

品名	ピペラックスシロップ		
有効成分 及び含量	本剤100mL中 クエン酸ピペラジン	22.5g	(無水物として 20.0g)

添加物として、D-ソルビトール、安息香酸ナトリウムを含有します。

【効能又は効果】

犬：犬回虫の駆除

猫：猫回虫の駆除

【用法及び用量】

1回、体重1kg当たり、下記の量を強制的にまたは少量の餌に混ぜ、もしくは少量の水に溶解して経口投与する。

犬：0.55 mL ～ 1.1 mL

猫：0.55 mL ～ 1.1 mL

〔使用上の注意〕

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用してください。
- 本剤は過剰投与により副作用が発現しやすいので、定められた用法・用量を厳守してください。
- 使用前に添付文書等をよく読み、十分理解した上で使用してください。

(使用者に対する注意)

- 回虫に感染している犬・猫のふん便中には、肉眼では見えない虫の卵がたくさん含まれており、そのまま放置するとやがて感染能力をもった成熟卵(幼虫を含む)になります。人や犬・猫への更なる感染を防ぐため、排泄されたふん便はすみやかに処理してください。

(犬及び猫に関する注意)

- 連日の投与は行わず、再度駆虫を必要とする場合は10日以上の間隔をとってください。
- 他の駆虫薬とは同時に使用しないでください。
- てんかん等の痙攣性疾患や心臓・肝臓・腎臓の疾患がある場合、下痢など体調が優れない場合、特異体質、妊娠中、生後3ヶ月齢未満の場合には、本剤の使用を見合わせ、獣医師に相談してください。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 内容に異常を認めたものは使用しないでください。
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
- 容器のふたをしっかり閉め、直射日光を避けてなるべく湿気の少ない涼しいところに保管してください。
- 使用後も箱に入れて保管してください。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 誤用の原因になったり品質が変わるのを防ぐため、他の容器に入れ替えないでください。
- 使用済みの容器は地方公共団体条例などに従い処分してください。

2.使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って本剤を大量に飲み込んだ場合は、悪心・嘔吐・下痢・めまい・痙攣などの症状があらわれることがあります。この様な症状があらわれた場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 誤って本剤が目に入った場合は、擦らずに直ちに水道水で十分に洗い流した後に、必要に応じて眼科医の診察を受けてください。

(犬及び猫に関する注意)

- 使用しても症状の改善がみられない場合や異常がある場合は、獣医師に相談してください。
- 本剤の使用により激しい副作用(下痢・嘔吐など)があらわれた場合は、使用を中止し、獣医師に相談してください。

(取扱い上の注意)

- 計量は、添付のスプイト(3mL用、1目盛り0.5mL)を使用してください。

(専門的事項)

相互作用

- 本剤の投与により、フェノチアジン系トランキライザーの副作用が増強されることがあります。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

成分	作用
クエン酸ピペラジン	駆虫効果があり、寄生虫の筋肉を麻痺させます。

【製品情報お問い合わせ先】

現代製薬株式会社 お客様相談窓口

☎042-556-2528 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

製造販売元 **現代製薬株式会社**

〒190-1222 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原8-4

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。